



2018年1月7日 新春法会

2018年度 新春法会開催

1月7日(日)午前10時より塩竈道院専有道場を会場に「新春法会と新年会」を開催しました。所属拳士はもとより塩釜高校の拳士や近隣の一般の方々にも参加いただき、賑々しく開催することが出来ました。

今年の最優先課題は、拳士数増加です。指導力の向上と日常の修練の充実を図ると共に、レディースコースを新設し、拳士層の幅を広げ拳士数の増加を図りたい。

4月のレディースコース新設を目標に、2月10日(土)よりレディースコースの体験教室を開催致しますので女性拳士のご協力をお願い致します。

宗由貴 総裁メッセージ

2017年12月1日発信

ひとの役に立ち喜んでもらえるように生きるための人間力を

「与える喜び……」

小学校5年生になったと

き、父が私に贈ってくれた言葉です。

「自分がひとから何かをしてもらったらうれしいだろう。しかしそれよりも自分が人のために何かをしてその相手が喜んでくれたら、もつとうれしいんだよ」と日々聞か



新春法会での全体演武

されていきました。

ひとを傷つけたり苦しめたり、時には自分のエゴで生命まで奪ってしまうなど、マイナスのニュースが多い昨今、私たち少林寺拳法グループは日々の生活の中にひとに喜んでもらえる瞬間や、「ありがとう」の言葉が飛び交う空間をもつと作りたいたいと思います。

私の母は、不在がちな娘に代わって私の息子たちを育ててくれました。感謝の気持ちは伝えても、何か母を喜ばせることはできないかといつも考えていました。ちょうど

今後の予定

- ◎2月10日(土) レディースコース体験教室開始(塩竈道院専有道場)毎週土曜日(10:00~11:30)
- ◎2月11日(日) 宮城武専・昇段試験(青葉体育館)
- ◎2月23日(金) 18:00から 塩竈教区昇級試験(塩竈道院専有道場)
- ◎2月24日(土) 少林寺拳法創始70周年記念レセプション(東京プリンスホテル)
- ◎3月 4日(日) 宮城武専(青葉体育館)

母が還暦を迎えたとき、母の親しい方々に声をかけ、まったく母が予想できないサプライズを仕掛けて、大成功を納めたことがあります。そのとき学んだことは、母のことを日ごろから関心を持って知ろうとしないければ、喜んでもらえる企画はできないということでした。そして母自身も同じような感覚を持つて人のお付き合いを大切にしていたから、協力してくだつた方々がドキドキしながら一緒に企画実行を楽しんでもらえたということです。母は古希そして次の喜寿はと、ウキウキ期待に胸を膨らませて、それが元気の元となっていました。息子たちとウキウキドキドキの合作で、うれしそうな母そしておばあちゃんの姿を見ることが、私たちの大きな喜びとなっていました。

そんな母も他界し励みがなくなりぽっかり空洞化していったところ、先日息子たち家族がかつてと同じように、私の還暦をサプライズで祝ってくれました。私は、心臓が口から飛び出すほど驚きウルウルでした。呼びかけに応じて下さつた方々も私のプライベートな関係の方々ばかりで、家族が「私のことを知ってくれている」ということが何よりの喜びでした。私のヒストリー映像に至っては、私の両親の結婚式の写真から始まっています。息子たちからすれば、祖父母がいたから母が生まれ、そして自分たちが



新年会前の餅つき

存在すると。この何気ない当たり前のことが、私の孫たちも同席するうれしく楽しい空間の中で伝わっていることに、改めて大きな価値と喜びを感じました。

創始者 宗 道臣は、「縦糸と横糸がバランスよく強く織り合わさつて強い布となる」とよく言いました。

中島みゆきの「糸」の歌詞にもあるように、「縦の糸はあなた 横の糸は私 織りなす布は いか誰かを 暖めうるかもしれない」そんな人としての生き方を伝えるために、ひとの役に立ち喜んでもらえるように生きるための人間力を養える少林寺拳法でありたいと思います。

中国古典 紹介

今月は、「驥きは、一日にして千里せんりなるも、
駑馬どばも十駕じゅうがすれば則ちすなわまたこれに及ぶ」
を掲載 『旬子』

「驥」とは、一日に千里も走る名馬である。人間で言えば、天才と言つてよいかもしれない。

これに対し、「駑馬」とは鈍才である。天才に比べれば十分の一位の能力しかない。だが、そんな「駑馬」でも、十日も走り続ければ、「驥」の一日の行程に追いつくことができるのだという。

言うまでもなく、これは、普段の努力の大切なことを語つた言葉である。

せつかく立派な目標を立てても、実行に移さなかつたら、画えにかいた餅もちに等しい。また、実行に移しても、途中で止めてしまったのでは、これまた何にもならない。何事も継続することによって、豊かな実りが期待できるのだ。

特にそのような継続的努力を要求されるのが、自己啓発である。リーダーたる者は、すべからず「駑馬」に見習つて、一日も自分を鍛える努力を怠つてはならない。